

11月

かぜくも そらたいよう クラスだよ

2024.11.29 円町まぶね保育園

木の葉はも赤や黄、オレンジに移り変わり、秋も深まる頃となりました。心地よい気候の中で、園外保育や戸外での遊びをのびのびと楽しむ子どもたちです。日によっては急に寒くなったりと気温の変化も激しいので、体調に気をつけて元気に過ごしたいと思います。

おねがい

その日の気温や活動に合わせて戸外へ出る時の服装を決めているので引き出しに「薄長袖」を入れておいてください。

11月は3クラスで『きのこ』と『ドロアスの歌』を歌いました。

かぜくも

ついに三角馬に乗ってみた日。園庭に出ると、「せんかくうまがしたい。」と言う子どもたち。「皆では出来ないから順番ね」と伝えると、園庭あそびを楽しみながら「つぎのりたい」「まだ？」と順番に乗っていました。そらくみの姿をよく見ていた子どもたちは、柱を支えにして一人で乗ろうと何度かやってみて、「できない」と自分で判断して、「せんせいもって〜」と助けを求めていました。

大人に見守られている中で、出来ないことも一度は自分でやってみるということは、とても大切な経験です。そして、出来なかったことを「できない」と自分自身の中で受け入れられたこの姿も、子どもたちの大きな成長の1つです。

そこで、最も大切なのは、近くにいる大人が、自分でしようとしていたその姿や過程も認めたり誉めるということ。それがまた次へのやる気へとつながります。又、子どもの気持ちも察することも大切ですが、何でも手助けをしてしまうのではなく、子どもが自分で「どうして欲しいのか、どうしたいのか」という思いをことばにして伝えることが出来るように「待つ」ということも大切です。

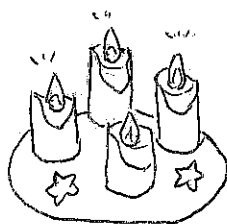
園庭に出ると、毎回三角馬に楽しんで乗っている子どもたちです。いつか、「せんせいみて〜。」と前に進める日が来るのが楽しみです。

北野天満宮。。。帰り道の30分は「おなかへった〜」のコールが止まりません。約30分掛けてどんぐり拾いに出発！1番北側(平野神社手前)にどんぐりを発見したくせん拾ってきました。境内でも「手はつないだまま離さず歩こうね」と言われた子どもたちは、牛の頭や体を触る為に1人ずつ抱っこしてもらった時も、手を離さずに互いに手をおもいっまり伸ばしていたり、「静かに歩こう」と言われると、境内も本当に静かに歩いたり、いつもとは違う雰囲気緊張していたのか約束をしっかりと守っていました。

そら・たいようぐみ

クリスマスごっこ

12月のクリスマスに向けてクリスマスごっこを楽しんでいます。礼拝で園長先生からクリスマスのお話を聞いたり、絵本や紙芝居、パープサートなどを通して聖誕劇のお話を聞いたり、過去のDVDを観たりしてイメージを膨らませています。「絶対この役」と心に決めていても、ごっこを重ねるごとに「この役もやってみたいよ」「他の役もやってみてほしいよ」というように他の役にも興味を持つ姿が見られるようになりました。本当に自分がやりたい役を見つけてほしいと思うので色々な役を楽しんだ後で役決めを行いました。やりたい役が被ったりの役に人数が多くてやりきれない場面もありましたが無理矢理ではなくみんなが納得して決めるにはどうやって決めたらいいかな？と聞いてみると「話し合いがいいと思う」と子どもたちから提案がありました。被ったごっこはお互いが納得するまで話し合ったり、話し合いの中で譲ってあげたり、その役を1回やってみることでまた気持ちが変わったりと、子どもたちの中でも色々な心の動きがあります。そうして決まった大事な役に子どもたち一人ひとりが楽しんで役になりきって、みんなでクリスマスをお祝いする気持ちを持って聖誕劇を作り上げたいと思います。



友だちと協力して1つのこっこと一緒に取り組むことで生まれる充実感や達成感、友だちと一緒に楽しむ楽しさ、合同保育で過ごしているそら・たいよう組だからこそ、今年はより一層深く感じたいと思います。